

氏名	北畠義典	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	体力科学 公衆衛生 運動疫学				
学位	修士(体育学)				
学歴	1987年 中京大学体育学部体育学科、1991年 中京大学大学院体育学研究科修士課程、1993年 中京大学大学院体育学研究科博士課程				
経歴	1994年(財)明治安田厚生事業団 体力医学研究所研究員、2005年同研究所副主任研究員、2011年同財団新宿健診センター学術室 室長(兼務)、2012年公立大学法人 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科 健康行動科学専攻 准教授、同大学院 保健医療福祉学研究科 博士課程前期 健康福祉科学専修 准教授、2014年 同大学院保健医療福祉学研究科 博士課程後期 准教授				
所属学会(役職)	日本運動疫学会(理事)、日本健康教育学会(理事)、日本体力医学会(評議員)、American college of sports medicine、日本公衆衛生学会、日本疫学会、日本体育学会、日本運動生理学会、日本栄養改善学会、日本民族衛生学会、日本学校保健学会、日本ストレス学会				

【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
2					
3					
(2) 論文					
1	小学5年生を対象とした食事バランスガイドを活用した食教育介入の効果 準実験デザインによる検証(査読付 原著)	共著	健康支援, 20(2), 201-210.	西中川まき, 稲山貴代, 根本裕太, 北畠義典, 荒尾孝	2018. 9
2	小学校高学年児童および中学生における身体活動、スクリーンタイムと睡眠指標との関連の検討: 横断研究	共著	運動疫学研究, 21(1) in press	根本裕太, 北畠義典, 稲山貴代, 荒尾 孝	2019. 3
(3) 学会発表					
1	大型団地における住民主体の健康なまちづくり(第3報) 5年間の評価 認知度別の健康度の比較	共著	第27回日本健康教育学会誌(兵庫)	北畠 義典, 延原 弘章	2018年6月
2	【シンポジウム】睡眠障害と地域連携・多職種協働 身体活動プログラムと地域包括・多職種連携 地域住民を対象とした睡眠障害予防活動を目指して	単著	日本睡眠学会定期学術集会プログラム・抄録集 43回(北海道)	北畠 義典,	2018年7月
3	地域在住自立高齢者における主観的認知機能低下と身体活動・座位行動との関連の検討	共著	日本応用老年学会大会 13回	根本裕太, 佐藤慎一郎, 武田典子, 北畠義典, 荒尾孝	2018年10月
4	Relationship between regular exercise and sleep in a large housing complex	単著	7th International Society for Physical Activity and Health Congress (London)	Y Kitabatake	2018年10月
(4) その他					
1	第28回 日本健康教育学会 運営委員				
2	日本健康教育学会選挙管理委員				
3	日本健康教育雑誌(日本健康教育学会) 査読				
4	日本農村医学雑誌(日本農村医学会) 査読				
5	日本健康教育学会COI委員				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	公益社団法人日本理学療法士協会 予防理学療法の確立を目的とした大規模臨床研究に対する研究助成	『地域自立高齢者における要介護状態への移行の実態とその予防対策に関する研究』、研究代表者 佐藤慎一郎 (研究分担者 北畠義典)			2017. 12-2019. 11
2	平成30年度 奨励研究	埼玉県立大学			2018. 4 - 2019. 3

3. 教育業績			
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
(1) 講義			
1	学部:健康科学Ⅰ	2012.4～	(1)健康とは、(2)身体的健康 非感染性疾患、(3)身体的健康 身体活動Ⅰ、(4)身体的健康 身体活動Ⅱ、(5)精神的健康 こころの健康Ⅰ、(6)精神的健康 こころの健康Ⅱ、(8)精神的健康 こころの健康Ⅲ、(9)精神的健康 こころの健康Ⅳ、(10)社会的健康 ※学会で得られた情報をupdateして、資料を作成した。
2	大学院 健康長寿論(博士後期課程)	2015.4～	履修者のディスカッション能力を高める工夫をした。
3	大学院 加齢神経運動機能論(博士後期課程)	2015.4～	質問紙調査の活用方法
(2) 演習			
1	学部:健康行動科学演習	2012.4～	(1)調査票のデータ化(2)エクセルの使い方(3)spssでの集計(4)spssでの解析(5)グラフの作り方(6)データ入力(7)データチェック(8)論理チェック(9)集計と報告書作成(10)分析データのまとめ ※グループ作業を通じて協力の体制づくりを意識させる工夫をした。
2	学部:課題別演習Ⅰ・Ⅱ	2012.4～	卒業研究に関する研究計画書の作成方法(研究倫理、エビデンスレベル、統計解析、論文の書き方)
3	大学院 健康長寿演習(博士後期課程)	2015.4～	地域での健康づくりに関する、介入方法(プログラム開発)、評価方法、住民と行政との協働の作り方を事例をあげて解説。
(3) 実習			
1	学部:健康行動科学臨地実習	2012.4～	(1-3)課題・問題の抽出および対策案の作成、(4-12)プログラム作成・リハーサル、(13-15)住民に対する健康支援プログラムの実施。※住民との交流に関心が持てるように工夫した(わかりやすいPPTづくり等)。
2	学部:健康生活測定	2012.4～	(1)健康をはかるとは、(2)血圧測定、(3)レポートの書き方、(4)肥満度、(5)身体活動量、(6)栄養摂取量、(7)調査でわかるもの、(8)健康情報の正しい選択 ※身近にある健康指標に対する意識や活用法を伝える。
3	IPW実習	2012.4～	本学で学んできたヒューマンケア視点・姿勢に基づき、チームメンバーの専門性と多様性の相互理解を通して、専門的な知識や技術を活用し、リフレクションを行い、チーム形成と協働の実践の方法を身につける。
(4) 論文指導			
1	学部(卒業研究)		指導4名
2	博士課程前期		主指導1名、副指導1名、副査1名
(5) その他			
1	香港理工大学 講義(英語)	2012.4～	身体活動とうつとの関連
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	健康運動指導士養成講座(講演)	日本健康・体力づくり財団	「体力測定と評価」
2	彩の国いきがい大学 熊谷学園(講師・講演)	公財)いきいき埼玉	「心とからだの健康」
3	運動疫学セミナー 講師	日本運動疫学会	「介入研究」
4	健康運動指導士養成講座(講演)	日本健康・体力づくり財団	「体力測定と評価」
5	「元気に“動こう・歩こう”プロジェクト」キックオフフォーラム	群馬県健康福祉部保健予防課 健康増進・食育推進係	健康寿命は 元気に“動こう・歩こう”の実践から～健康づくりのための身体活動とは～
6	警察庁 健康管理実務専科	警察庁	「運動における生活習慣病対策」
7	健康運動指導士 愛知県支部研修会	健康運動指導士会 愛知支部	「高齢者の睡眠と身体運動」
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	戸田市福祉保健センター	戸田市健康長寿プロジェクト評価委員	2016.5～2019.3
2	都留市 セイフティーコミュニティ	都留市セイフティーコミュニティ 委員	2018.11.30～

(3)ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	上毛新聞	健康づくりのための身体活動とは	2018. 10
5. 学内運営(委員会委員)			
1	高等教育開発センター(仮称)		
2	大学院 教務委員会		
3	大学院 入試問題作成		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		